

| | | | |
|--------------------|---|--|----|
| 会議名 (審議会等名) | 社会福祉審議会児童育成専門部会 | | |
| 事務局 (担当課) | こども部 子育て室 子育て支援課 内線 (2683) | | |
| 開催日時 | 平成20年7月30日(水) 13時30分～15時30分 | | |
| 開催場所 | 川西市役所2階202会議室 | | |
| 出席者 | 委員 (敬称略) | 西尾部会長、喜谷職務代理者、古谷委員、若松委員、渋野委員、南委員、柳川委員、林委員、松本委員、下山委員、伊賀委員、橋本委員、森友委員、田中委員、秋山委員、秋田委員 計16人 | |
| | その他 | 健康づくり室木下主幹、学校教育課和田課長、教育情報センター天宅所長 | |
| | 事務局 | こども部後藤部長、子育て室藪野室長、福祉推進室根津室長、子育て支援課小林課長、保育課塚北課長、同課山元主幹、青少年支援課吉田課長、子育て支援課田淵副主幹、同課中西主査 | |
| 傍聴の可否 | <input checked="" type="checkbox"/> 可 ・ 不可 ・ 一部不可 | 傍聴者数 | 1人 |
| 傍聴不可・一部不可の場合は、その理由 | | | |
| 会議次第 | (1)川西市次世代育成支援対策行動計画の平成19年度事業進捗状況について (2)川西市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)の策定スケジュールについて (3)新設保育所の開園について | | |
| 会議結果 | 詳細は審議経過のとおり | | |

審 議 経 過

| | |
|-----|--|
| | <p>1. 開会 こども部長あいさつ</p> <p>2. 辞令交付</p> <p>3. 委員紹介 部会長あいさつ</p> <p>4. 議事</p> |
| 部会長 | 本日の議事に入る。報告第1の川西市次世代育成支援対策行動計画の平成19年度事業進捗状況について、事務局より説明願いたい。 |
| 事務局 | (資料2の川西市次世代育成支援対策行動計画について説明)・・別紙資料2 |
| 部会長 | 質問をお願いします。 |
| 委員 | 乳幼児医療扶助事業について、川西市は近隣市と比べると見劣りする。川西市は0歳のみ医療費が無料であるが、三田市は9歳まで、伊丹市は6歳まで無料である。市の財政事情は厳しいが、阪神間で際立って支援が少ないといった状況を脱し、進展していくことを望む。 |
| 事務局 | 委員の意見を担当課に伝えるとともに、川西市次世代育成支援対策行動計画の後期計画策定時に反映できるかどうか検討したい。 |
| 委員 | 障害児の保護者から、下校後に子どもを預かってほしいという要望があるが、施設や制度はどうなっているか。 |
| 事務局 | 20年度よりさくら園で「児童デイサービス事業」が始まった。主な対象者は就学前児童であるが、就学児童についても受け入れている。 |
| 委員 | 制度の周知をお願いしたい。 |
| 事務局 | PRに努める。 |
| 委員 | 公立保育所の老朽化が進み、耐震化を含めて設備の不十分さを感じる。安全確保と設備の充実についての進捗状況を説明願いたい。 |
| 事務局 | 21年度に実施予定の耐震診断結果を参考に今後の対策を検討する。遊具を含めた設備については、老朽化で緊急を要するものについては対応済みで |

| | |
|-----|---|
| | あるが、その他のものについては年次的に更新を進めていく。 |
| 委員 | 地震時等における園舎のガラス飛散防止に、フィルム貼付の要望が保護者から出ているが、耐震診断までの措置として実施の見込みはあるか。 |
| 委員 | <p>公立保育所に限らず民間保育所、幼稚園などにも関係する問題であるが、施設では一般家庭よりも高い設置基準を設けているが、それで万全であるとはいえない。同じ理由でフィルムを貼っても安全とはいき切れない。</p> <p>フィルムの貼付には、かなりの費用がかかり実現は難しいが、安全対策については前向きに検討する必要がある。</p> |
| 部会長 | 児童がかかわる施設については、地震や災害時の安全性について、抜本的な調査をお願いする。 |
| 事務局 | 安全対策については継続して実施していく。 |
| 委員 | 体験保育について、2 箇所の保育所で実施されているが、私立幼稚園を含めるなど実施場所を増やす考えはあるか。 |
| 部会長 | 市内 2 箇所では少ないという印象がある。対象となる保育所にも幼稚園にも通っていない 4 歳児と 5 歳児はどのくらいいるのか。 |
| 事務局 | <p>在宅の児童数については、市外の幼稚園へ通っているケース等があるため、正確には把握していない。</p> <p>体験保育の実施箇所は 2 箇所であるが、地域子育て支援センター事業とセットの事業としてスタートした経緯があり、交付金の関係で箇所数の制限があるため実施箇所を増やすことは難しい。しかし、最近では地域子育て支援センター事業とは別の取り組みとして、多くの保育所等で体験保育より時間が短い受け入れや行事への参加などに取り組み、地域での子育て支援を行っている。このような形態も含めて、体験保育より枠を広げた形で川西市次世代育成支援対策行動計画の後期計画で拡充を図りたい。</p> |
| 部会長 | 保育所や幼稚園での生活は、子どもの社会性の涵養や保護者同士の交流といった面で有用であると思われるので拡充願いたい。また、在宅で子育てをする家庭について、理由等について緻密に調査し確認する必要がある。 |
| 委員 | 病気回復期の児童の一時預かりについて、制度の変更があり看護師が常駐している保育所等でも可能になった。現在実施できていないが、実施に向けて具体的な方策はあるか。 |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | 医師会の協力を得ながら、川西市次世代育成支援対策行動計画の後期計画に再度盛り込んで実施をめざしたい。 |
| 委員 | 離婚等の際に乳幼児であっても父親が引き取るケースが増えているが、母子家庭への支援に比べて父子家庭への支援が少ないと感じる。社会環境が変化する中で、ひとり親家庭への支援といった大きな視点での施策をお願いしたい。 |
| 事務局 | 市では 20 年度から、法定制度等で名称を変更できないものを除き、ひとり親家庭事業に名称を変更するなど、取り組みを始めたところである。 |
| 部会長 | 次に報告第 2 の川西市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)の策定スケジュールについて、事務局より説明願いたい。 |
| 事務局 | (資料 2 の川西市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)の策定スケジュールについて説明) ・別紙資料 3 |
| 部会長 | 続けて、報告第 3 の新設保育所の開園について、事務局より説明願いたい。 |
| 事務局 | <p>旧桜が丘幼稚園跡地における新設保育所の整備について、19 年度に整備法人を学校法人成城学園に決定し、建設工事を進めてきた。建築基準法の改正等により、確認審査が滞った影響を受け、4 月開園の予定から遅れたが、6 月 2 日に日吉保育園として開園した。</p> <p>建物規模としては 120 名の定員を想定し整備されたが、開園時は定員 60 名でスタート。施設は 1 階及び 2 階が保育室、屋上には人工芝を配した遊戯場とプールを備えている。7 月 1 日現在の入所児童数は 61 名となっている。年齢の内訳は 0 歳時が 13 名、1 歳時が 22 名、2 歳時が 15 名、3 歳時が 8 名、4 歳児が 2 名、5 歳児が 1 名で 0 歳児から 2 歳児が中心となっている。通常保育に加え、午後 8 時までの延長保育と、一時保育も実施している。園庭開放などの地域子育て支援事業についても 7 月より実施。さらに休日保育に関するセンター事業についても、今年度後半から開始の予定である。</p> <p>保育体制については、ベテラン保育士を配置するようにとの当会での要望があり、経験年数 10 年以上のスタッフが 4 名、5 年以上が 3 名、5 年未満が 4 名、新規採用が 3 名とバランスの取れた配置となっている。</p> |
| 部会長 | 報告第 2 と 3 に関して質問を受けたい。 |
| 委員 | 川西市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)の策定スケジュール中の計画策定の基礎データとなるアンケートの対象者について、抽出方法と内訳に |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>ついて説明を求める。</p> <p>抽出は無作為で、調査対象は前期計画と同様に就学前児童のいる家庭から 1,800 件、小学生の児童を持つ家庭から 1,200 件、中学生から 400 件、高校生から 300 件を予定している。また、調査項目については、厚生労働省から示された原案を元に、市独自の項目を追加し実施することとなるので、当会での協議をお願いしたい。</p> |
| 委員 | <p>一昨年から昨年にかけて大学生を中心に麻しんが流行した。2年前から予防接種が1回接種から2回接種となったが、1回しか接種していない現在の中・高校生への対応として、時限的な5年間の措置として中学1年生に3回目を、高校3年生に4回目の接種を行うこととなった。2012年までに国内から麻しんをなくそうという取り組みがなされている。3回目及び4回目の実施率が非常に低いので、関係部署でのPRをお願いしたい。</p> |
| 部会長 | <p>保健担当部署に委員の意見を伝えてほしい。</p> |
| 事務局 | <p>PRに努める。</p> |
| 部会長 | <p>これで、第1回社会福祉審議会児童育成専門部会を終了する。</p> |

※別紙資料は、市政情報コーナーに備え付けています。